

「学生委員会とはなんなのか？」を 自分の言葉で伝えられるようになる。

北陸エリアの学生委員を対象に、今後の各会員生協での組合員活動を盛り上げていくためのきっかけをつかむ場として、新入生セミナーを開催しました。

活動概要

日時：6月30日（土）～7月1日（日）

場所：能登青少年交流の家

対象：北陸エリアの学生委員・生協委員、
その他専務理事・店長が認めるもの

今回は、3会員合計81名の参加がありました！



北陸エリア 新入生セミナー2018

企画 1

協同組合を知る時間



大学生協や学生委員会について説明し始める前に、その根底にある「協同組合」についての学習会を行いました。

協同組合のもととなった、ロジデールや日本の協同組合の成り立ちを踏まえて、自分の身の周りの問題をとりあげ、一人でどのように解決するか、複数人でどのように解決できるか（団結することで出来ることはないか）を考えるワークを行いました。

企画 2

当知大学生協。(まさに大学生協を知るべし。) 当知学生委員会。(まさに学生委員会を知るべし。)

「協同」について理解した後、大学生協や学生委員会がどのような組織であるかを知り、自分たちがどうして活動を行っているのかを理解しました。

戦時中の日本の学生の様子を取りあげ、学生自身が安心して勉学に励むために大学生協が出来上がり、それ以後、組合員の想いの変化に合わせて変化してきたと説明していました。グループワークでは、普段の生活を取り出してから、それが大学生協と関わりがあるかどうかを考えるワークを行い、組合員の声の重要性を紹介していました。

後半は、身の周りの問題が大学生協単体で解決できることとできないことをワークで確認したうえで、学生委員会の役割を説明しました。組合員・生協の組織としての学生委員、それぞれの立場を踏まえて、自分にとっての学生委員とは何かを考えました。



企画3

Let's GI活動！



企画2で学んだ「学生委員会の役割」をもとに、学生委員会の一連の活動の流れを説明しました。活動を行うにあたって、組合員の想いをもつことも大切であるとともに、**活動を行う「学生委員」の想いをもつことが大切**であるという説明を受けました。また、活動を行っていく上で、**PDCAサイクル(Plan・Do・Check・Action)を意識して活動を行っていくことが大事**ということも説明されていました。

後半では、PDCAサイクルを意識して取り組まれた事例発表を行いました。また、活動を行っていく上で、**モチベーションを保ちながら楽しく活動を行っていきましょう**と提起され、一人一人がこれからの目標設定を行っていました。

企画4

MKTの時間

企画3で学んだPDCAサイクルを踏まえて、実際にある都市の情報をもとに、その町をよくするためにどうしていくかというグループワークを行いました。まず**現状分析**を行い、その町の特徴をつかみました。その後、その町をよくするためのテーマと企画を考え、最後に、ペアとなる班同士でプレゼンを行いました。そして、最後にグループワークで用いた町や住人を、大学・組合員に置き換え、企画を考えていく上で大切なポイントを提起していました。



参加者の声

(感想文用紙より)

・他大の人と交流できてとても楽しかった。また、今回参加するまでよくわかっていなかった生協に関する知識や他大の特色ある活動などを知る機会になった。ここで学んだことが生協活動だけでなく普段の生活にも活かせるものもあり(PDCAなど)、とても有意義な時間を過ごすことができた。

(富山県立大学1年)

・学生委員としての心構えを楽しく学ぶことができよかったです。他大学との交流ができたことも新しい気づきにつながると思うので、このセミナーの経験をこれから活かしていきたいと思います。(富山大学1年)

・どの企画も面白く、楽しく学ぶことができました。事務局・実行委員の皆さん、ありがとうございました！！(福井大学1年)

北陸エリア 新入生セミナー2018

